

平成30年度

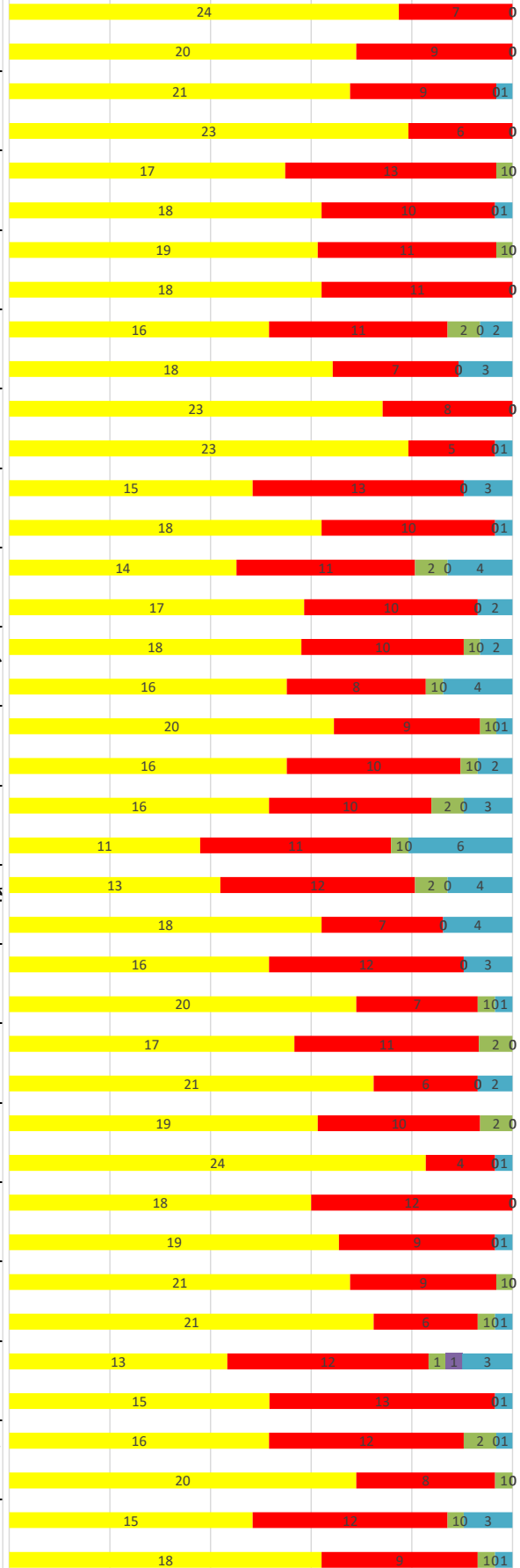
飛騨吉城特別支援学校アンケート結果(保護者・学校評議員)

上段:平成30年度アンケート(回収率86%)

下段:平成29年度アンケート(回収率85%)

■A:あてはまる ■B:ややあてはまる ■C:あまりあてはまらない
 ■D:あてはまらない ■E:わからない

番号	項目
教育方針	1 学校の教育目標「地域で育ち、学び、共に生きる」や指導方針の内容に共感できる。
	2 学校は、児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるような工夫をしている。
	3 学校は、特色ある教育活動を展開している。
	4 学校では、先生と児童生徒が信頼し合って活動している。
	5 学校は、保護者(地域)が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である。
	6 学校は、いろいろな人との交流を大切にし、児童生徒の経験を広めている。
家庭との連携	7 学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)へわかりやすく伝えている。
	8 学校は、自校の教育活動に関する自己評価を保護者(地域)へわかりやすく伝えている。
	9 学校は、児童生徒の様子などについて、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なっている。
	10 学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。
	11 学校は、進路に関する連絡や情報提供を児童生徒や保護者に向けて適切に行なっている。
	12 学校の先生と児童生徒あるいは保護者との懇談が十分に実施されている。
	13 学校の先生は、個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている。
教職員	14 学校の雰囲気がよく、教職員は協力し合って生き生きとしている。
	15 学校の教職員は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。
	16 学校の先生は、児童生徒に愛情をもって接している。
	17 学校の先生は、児童生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる。
	18 学校の先生は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている。
	19 学校の先生は、社会常識を身につけており、人間としても信頼できる。
	20 学校の先生は、児童生徒の実態を的確に捉えている。



授業	21	学校の授業内容や進度は、児童生徒の実態に即している。	13	13	0	4
	22	学校の授業には、体験的な活動が取り入れられ、児童生徒は意欲的に取り組んでいる。	17	12	0	0
			20	9	0	2
23	学校の授業は、児童生徒一人一人に合った教材・教具が準備されている。	20	8	0	1	
		18	9	10	3	
その他	24	学校では、体罰の防止に努めている。	17	11	0	1
			19	9	0	7
	25	学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	18	6	0	5
			17	9	10	8
	26	保護者や関係諸機関の意見が個別の教育支援計画に反映されている。	15	7	0	7
			18	10	10	2
	27	学校は、医療機関と常に連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている。	15	14	0	0
			16	8	10	5
	28	学校は、進路指導において関係諸機関との連携をきめ細かく行っている。	19	7	0	3
14			12	0	4	
29	学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。	16	9	10	3	
		16	13	10	1	
学校独自の項目	30	学校は、その活動のPR(広報)を積極的に行っている。	25	4	0	0
			17	14	0	0
	31	学校は、地域の教育的資源を積極的に活用している。	21	8	0	0
			19	11	0	1
	32	学校は、児童生徒の笑顔であふれて楽しそうである。	21	7	0	1
			18	11	0	2
	33	学校は、障がい種を越えて個別の指導計画などを十分活用して、一人一人の状況に応じた教育を進めている。	22	7	0	0
17			12	10	1	
34	学校は、保護者と一体となって、PTA活動を進めている。	19	10	0	0	
		14	15	0	2	
35	学校は、飛騨地域北部の特別支援教育のセンターとして機能している。	22	6	0	1	
		16	9	0	6	
			17	4	0	8